

理科連が声明

先月二十日、学生部長宛に「公開質問状」を提出した理科部連合会（佐々木綱治委員長）は、二十五日に回答を受けたが、それに対する「声明文」を三十日発表した。

声明

われわれ理科部連合会で、先月二十日に提出してきた学生会館に関する公開質問状に対する学生部からの回答を以下に明らかにする。

現在、学館特別委員会、運営委員会が解体状態であるので、正式発足する待って話し合いのものと解決するまで、それまでは大学当局のロック・アウトを続ける——という回答である。

過去二貫した一方的な当局の学生に対する配慮は最近になって、ロック・アウトをいかに事実として露呈してきた。まへにわれわれ学園の秩序を真に乱して行くものは大学当局である。

われわれ理科部連合会はこの世帯の一方的なロック・アウトに対して学生の自治の場として、サークルの自治活動を保障する場として五月六日から自主的に学生会館全面閉鎖を行なう（ロック・アウト）を明示するものである。